

賢い COOL CHOICE 選択

クールチョイスしものせき

SHIMONOSEKI



「COOL CHOICE」とは、2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度と比較して、26%（下関市では30%）削減するという目標達成のため、省エネ・低炭素型の製品への買い換えやサービスの利用、また省エネを推進するライフスタイルの選択など、地球温暖化対策のための「賢い選択」をしているとする取り組みのことをいいます。

環境政策課（☎252-7115）

さあみんなで
賢い選択！



山口県地球温暖化防止活動推進員

（左から樋口さん、小河さん、田中さん、高浪さん）

エコフェスタなどのイベントで、クールチョイス宣言への賛同を呼び掛けるほか、地球温暖化防止に関する啓発活動を行っています。また、出前講座も行っており、小学校などで講師をすることもあります。

推進員の樋口さんは「普段、地球温暖化について意識していない方も多いと思います。私たちの活動で、この問題に関心を持つきっかけが作れたらいいですね」と話してくれました。



下関市立大学 経済学部
菅 正史 准教授

2 015年、すべての国が参

加する形で、2020年に以降の温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」が採択され、世界共通の目標として、平均気温上昇を2度未満にすること、今世紀後半に温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることが打ち出されました。

パリ協定を踏まえ、日本では2030年度に温室効果ガスの排出を2013年度比で26%削減する目標を掲げています。下関市では国の目標を上回る30%削減を目標に設定しました。

異常気象

世界の平均気温は、ここ100年で0・85度ほど上昇したといわれて

います。この問題に詳しい下関市立大学経済学部の菅准教授に話を伺いました。「小さな値と感じられるかもしれませんが、その影響はすでに現れています。昨年の夏に発生した西日本豪雨も、その影響の一つと言われています」と菅准教授。地球温暖化が進行すると異常気象のリスクが高まると考えられています。「今後どの程度気温が上昇するかについては現在研究が進められていますが、温暖化対策を行わなかった場合、2100年までに最大4・8度気温が上昇し、その後も気温上昇が継続する可能性が高いと言われています。温暖化対策を行うことで気温の上昇を抑えることができますが、1度程度気温が上昇しただけでも、大雨や洪水の増加、農林漁業への影響、感染症の増加など、私たちの生活にさまざまな悪影響が生じることが心配されています」

家庭からの排出は40%増加

日本の温室効果ガス(約99%が二酸化炭素)の排出量は、太陽光発電などの再生可能エネルギーの普及もあり、近年減少傾向にあります。が、依然として1990年、約30年前の排出量を上回っています。「部門別にみると、工場からの排出量は約18%減少しているのに対し、家庭からの排出量は約40%増えています」と菅准教授。家庭からの二

酸化炭素排出量のうち、約半分が電力、約4分の1が自動車からの排出量です。「大きな負担が伴う対策は難しいと思いますが、何か買うときに、できるだけ環境に優しい物を選ぶこと、家電などを買い換えるタイミングに併せて環境性能の高い製品を選ぶことが効果的です。できる範囲で構いません。省エネ行動やエコドライブ、公共交通の利用など、普段のちょっとした行動、心掛けが大切だと思います」

温暖化対策をしない場合 2100年には気温が 最大4.8度上昇する可能性も

自然環境をよりよい形で次の世代に引き継ぐことそれは、現代に生きる私たちに与えられた責務です皆さんの日頃からの取り組みが唯一の打開策です



下 関市と下関青年会議所(下関JC)は、地球温暖化対策と持続可能な開発目標(SDGs)の効果的な啓発活動を行うために協定を結びました。

SDGsとはSustainable Development Goalsの略。「持続可能な開発目標」と訳されています。2015年9月の国連サミットで採択され、2030年までに達成す

べき課題と、その具体目標を定めています。温暖化等の気候問題のほか、貧困・飢餓、健康・福祉、平和・公正などの17分野のゴールが設定され、国際社会全体で取り組むこととなっています。

下関青年会議所の阿部理事長に話を伺いました。「今回の協定は、下関青年会議所の設立目的の一つでもある、『社会貢献

という側面が強いですね。また、大きな視点で見れば、将来の仕事、ビジネスのため、ということもできるかもしれません。今だけを、目の前だけを見ても仕方ありません。この社会、地域が継続し、活性化していかなければ、私たちの生活、仕事も立ち行かなくなります。将来世代のた

めにも、今できることをしっかりやっていきたいですね。まずはSDGsというものを知ってほしいと、広報活動に力を入れています。「広報活動の一環として普段からSDGsのバッジを付けているのですが、話題になることも多く、徐々に浸透している気がします。今年は市が行うクールチョイス関連のイベントにボランティアで協力するほか、ポスター掲示などの取り組みを行います。

SDGs達成へ、下関JCと協定締結



下関青年会議所
左から松井理事、阿部理事長、
田尾常任理事



クールチョイスを 実践しよう!

クールチョイスしものせきに取り組む皆さんの活動や市の取り組みなどを紹介します。参考にして、あなたも今日から賢い選択! この他にも市ホームページに掲載しています。ぜひ、ご覧ください!



下関短期大学 雨森 咲奈 さん

「こだわりポイントはご飯ではなく、麺にしたところ。食欲が減退する夏場でも、麺なら気軽に食べられると思います。また、豆板醤のピリ辛ソースが食欲を刺激します。垢田のトマトなど地元の野菜を使用し、色彩も意識しました。ぜひ、食べていただき、暑い夏を乗り切るお手伝いできたらうれしいです!」(雨森さん)

クールビズランチ・ウォームビズランチ 3

空 調を使い過ぎなくても快適に過ごせるようにと、レシピを工夫したクールビズランチやウォームビズランチ。毎年、期間限定で、市役

所本庁舎新館4階の食堂で販売しています。今年のクールビズランチは下関短期大学の雨森さんが考案した「マーボー野菜麺」です!

期 8月9日(金)まで
料 500円(税込み)



マーボー野菜麺

冷 房や暖房に頼り過ぎず、服装などを工夫して快適に暮らすエコスタイルを推奨しています。クールビズ期間中はノーネクタイ、ノー上着で涼しく、ウォームビズ期間中はカーディガンなどで温かく働きましょう!

「5月1日から9月30日までのクールビズ期間はノー上着、ノーネクタイで勤務しています。エアコンの室温設定が28度でも快適です。弊社ではISO14001の取得や、照明のLED化など、環境問題には全社的な取り組みをしています。

私自身も環境意識が芽生え、買い物もエコバッグを使っていますし、ごみの分別もしっかりやっています!」(真田さん)



瞬報社写真印刷
真田 友樹 さん

4 クールビズ・ウォームビズ

1 ノーマイカーデー

通 勤や買い物の交通手段を公共交通機関、自転車や徒歩などに切り替えるノーマイカーデー。今年は2回開催。バスや関門連絡船の運賃割り引きや飲食店等で特典サービスの提供を受けることができます。

※要事前登録。詳細は環境政策課へ。

回 10月18日(※開催済み: 6月21日)

「ノーマイカーデーの2日間、バスはどこまで乗っても1乗車100円です! 公共交通機関が移動手段の選択肢となるきっかけになればと考えています。昨年までは企業が対象でしたが、今年は個人でもご利用できます。バスの現在地が分かるバスロケーションシステムや、時刻表が確認できるアプリを導入し、大変便利になっていますので、ぜひご利用ください!」



サンデン交通 伊東 大紀 さん

(伊東さん)

2 電気自動車の導入促進

公 共施設への急速充電器を整備し、皆さんが環境負荷の少ない次世代自動車を購入しやすい環境を目指します。



▷急速充電器(道の駅きくがわ) ※道の駅街街道西ノ市、道の駅「北浦街道豊北」などにも整備しています





ブリヂストン下関工場 正面玄関前

7 緑のカーテン

緑のカーテンとは、ゴーヤやアサガオなど、つる状に伸びる植物を窓際に植え、カーテン状にするもので、日差しを遮り、また蒸散作用で葉っぱを冷やし、室内温度の上昇を抑制する効果があります。市では、アースデイ関門などで、ゴーヤの種などを配布しています！

「緑のカーテンは2009年から始めて、今年で11年目となります。最初の頃はゴーヤだけでしたが、徐々にこつをつかみ、近年はシカクマメやアサガオなども混植しています。ゴーヤやシカクマメは食べられますので、収穫を楽しみにして

くれている社員もいます。みんなが楽しんでいることが続いている秘訣かもしれませんね。直射日光を遮ってくれるので、エアコンの効きも良く、真夏日も快適に過ごさせています！」
(秋田さん)



ブリヂストン
秋田 智恵さん

COOL
SHARE

WARM
SHARE

8 クールシェア・ウォームシェア

商業施設や公共施設などに集まり、みんなで楽しい時間を過ごしながらか省エネ・節電を図り、まちなかのにぎわいづくりを推進します。

期間内にシェアスポットを回ってスタンプラリーに参加すると抽選ですてきな景品をプレゼント！ 詳細は市ホームページ
関▷クールシェア=8月1日~9月30日 ▷ウォームシェア=12月1日~1月31日

集まって！
省エネ！



市では、下関地域の地球温暖化対策を進めるために「クールしものせきサポーターClub」を設立し、会員を募集しています。会員には参加登録証を発行し、温暖化対策の最新情報などを提供します。会員はプロモーション活動の支援などを行います。

「今年5月にクールしものせきサポーターClubの会員になりました。非常に大切なことだと思っており、カモンFMでは3年前からクールチョイスに関する番組を放送しています。番組では、一般の方のクールチョイスに関する取り組みなどを紹介し、併せてフェイスブックにも掲載しています。毎年7月から2月まで、1日に2人ずつご紹介していますが、徐々にクールチョイスという言葉が浸透してきていると感じています。今後もプロモーションに協力していきたいですね」(富永さん)



コミュニティエフエム下関
富永 洋一さん

クールしものせきサポーターClub 5

宅配便の再配達を減らすことは、CO₂削減にもつながります。荷物が届く時に都合のよい日時を指定する、コンビニや宅配便ロッカーで受け取る、など、好きな時に、好きな場所で受け取れるサービスを活用することが再配達の削減になります！



オープン型宅配便ロッカー「PUDO」
(ヤマト運輸 下関垢田センター)

6 再配達をなくそう

「弊社ではCO₂削減に向けて、再配達の削減に取り組んでいます。宅急便の受け取り指定はご存じですか？ 配達日時などを公式アプリやラインなどで事前に通知し、受け取り日時や場所の指定、変更ができるサービスです。受け取り場所を変更する場合、コンビニやオープン型宅配便ロッカー「PUDOステーション」での受け取りも可能です。無料会員制サービス(クロネコメンバーズ)への登録でどなたでもご利用いただけます。ぜひご活用いただき、好きな受け取り方で、再配達削減につながっていただくと幸いです」
(立石さん)



ヤマト運輸
立石 恵介さん